

地域計画を策定しました

「地域計画」とは、住みよい地域をつくっていくために住民が自ら立てる計画です。

住んでいる地域の宝物や課題を整理しながら、住民が「住みよい地域」とはなにかを考え、意見交換を行い、地域で取り組む課題の解決方法や地域を元気にする方法などをまとめ、見える化した地域づくりの指針となるものです。

みんなが考えて地域計画をつくり上げると・・・

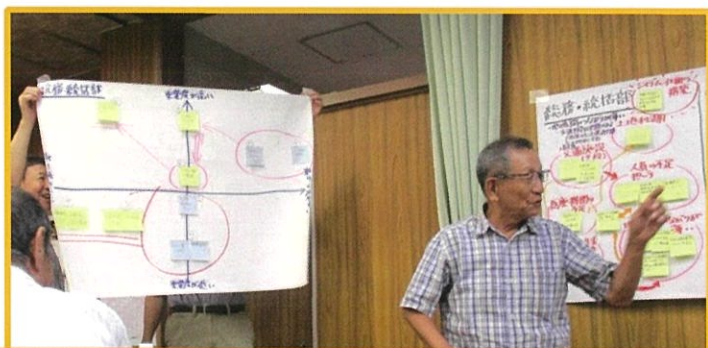
- ☞ 自分たちが住む地域の状況が見えてきます
- ☞ 地域のことを考え、活動に参加するきっかけになります
- ☞ 地域に必要な活動の方向性を話し合い、共有することが出来ます

深伊沢地域づくり協議会では、住民、自治会、子ども会、老人会、体育振興会、民生委員会、水土里を守る会等々・・・この地区に住む全ての人たちや団体の皆さんにより、昨年7月、地域計画策定委員会を立ち上げました。率直に知恵や意見を出し合い、4回のワークショップと7回の協議会を経て、先日まとめることが出来ました。

5月中には各戸へ配布させていただきます。

地域計画の概要

- 1 地域づくりへの想い
- 2 地域づくりの基本方針
- 3 地域づくり5本の柱
- 4 地域づくり推進組織
- 5 深伊沢地区の姿
 - (1) 地域の現況
 - (2) 地域の主な資源
 - (3) 住民の意識
 - (4) 地域の主な行事
 - (5) 地域の宝物と課題
- 6 深伊沢が目指す地域づくり
 - (1) 各部の目標
 - (2) 分野別課題と当面の目標及び担当部
- 7 地域計画の策定経過



地域計画策定委員会ワークショップの様子



田植えは中止になりました

例年「深溝水土里を守る会」と協働で取り組んでいる米作り体験教室第一弾「田植え」は、4月25日(土)に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたしました。

「深溝水土里を守る会」が行っていた餅つきから始めた米作り体験教室も、4年目を迎えます。田植えから稲刈り、そして収穫したもち米を使っの餅つき大会へと発展し、徐々に深伊沢地区活性化の中心的役割を担うようになってきました。これからも皆さんの意見や思いを大切にしながら、楽しめる活動へと発展させていきたいと思っています。

今後、稲刈り(8月29日(土))、餅つき大会(12月6日(日))を予定しています。ぜひご参加いただきますようお願いします。

地域田の畔にピンクの芝桜

今年から米作りの田んぼが増えました。全部で約九反になりました。

今年の3月25日(水)、その田んぼの畔に芝桜を植えました。水土里を守る会を中心に、老人会、地域住民の方々約20名が参加しました。今はピンクの小さな花が咲いていますが、来年の4月ごろには素敵な花の絨毯ができると思います。ぜひ、見に来てください。



収益金で専用の保管倉庫を新設

米作りを始めてから4年目を迎えました。

この間に米を販売した収益や市の応援補助金を使って餅つき機や杵、ザル、バケツ、ロージ

更には黒ニンニク製造機などを購入しました。

備品がたくさん増えたので、収益金を使って地区市民センターの裏に専用の保管倉庫を新設しました。